

詳細は裏面をご覧ください

創作活動の源泉となった手賀沼周辺の地図を手掛かりに我孫子・手賀沼の景観をたどるまち歩きと講座に参加しませんか。

- ・明治末～大正に文人らが集い愛されて様々な作品を生み出した優れた景観の我孫子・手賀沼
- ・手賀沼の干拓・市街化から貴重な景観を守るための手賀沼 保勝会 等々の活動があったこと

我孫子 まち歩きツアー +セミナー



杉村楚人冠記念館



旧村川別荘



志賀直哉邸跡



白樺文学館



手賀沼親水広場・水の館

◆**催行日：令和7年2月15日（土）**
12：20～16：30（小雨決行）

参加費：無料

※中止の場合は前日に事務所協会HPにてお知らせします。

※**申込期限 令和7年2月7日まで**

この企画は千葉県から業務委託を受けた事業です。

主催：公益社団法人 千葉県建築士事務所協会（景観整備機構）



『我孫子まち歩きツアー＋セミナー』詳細

【日 時】 令和7年2月15日（土）
12：20～16：30（小雨決行）
【場 所】 我孫子市
【対 象】 どなたでも（定員先着20名程度）
【参加費】 無 料
【申込先】 公益社団法人千葉県建築士事務所協会
FAX：043-225-2066（24時間対応）
E-mail：jm@chiba-jk.or.jp

【スケジュール】

※当日連絡先：090-4626-9831（出堀）
12:20 **集合・受付【我孫子 水の館 3F】** ①
（我孫子駅(南口)よりバス「市役所」下車徒歩約5分）
12:40 **セミナー：水の館3F 研修室**
・テーマ：『我孫子・手賀沼の景観とその近代』
・講 師：我孫子市教育委員会 柏瀬 拓巳 氏
14:00 **まち歩きツアー：**
旧村川別荘・志賀直哉邸跡・白樺文学館・天神坂
天神山緑地・杉村楚人冠記念館⇒けやきプラザ
16:15 **意見交換会：**（アンケート回収）
『けやきプラザ』にて ②
16:30 **解散**（当日の状況により行程が変更になる場合があります）

※資料QRコード



《我孫子・水の館》



《バス・ルート》



《バス・時刻表》



（本地図の掲載については我孫子市教育委員会からの提供です）

参加申し込み用紙 FAX：043-225-2066
E-mail: jm@chiba-jk.or.jp

FAXまたは、メールで応募される方は以下にご記入の上送信してください

（フリガナ）

お名前：

（生年月日：昭和・平成 年 月 日）

住 所：

連絡先（携帯電話）：

E-mail：

参加区分：一般 行政（ ）事務所協会（支部： ）学生（ ）

※お預かりした個人情報は厳重に管理し、本人のご了承なしに第三者に開示・共有することはありません。
「受付の確認」「中止の際の連絡」等に使用させていただきますので、予めご了承下さい。
※当日、HP掲載、映像記録として動画、静止画を撮らせていただきます。

問合せ先：公益社団法人 千葉県建築士事務所協会 景観まちづくり委員会
TEL 043-224-1640（平日 9時～17時） URL <http://www.chiba-jk.or.jp>

景観まちづくり見学会報告書


報告日：令和 7 年 2 月 18 日

名称	我孫子まち歩きツアー＋セミナー	主催	(公社)千葉県建築士事務所協会 景観まちづくり委員会
日時	令和7(2025)年2月15日 12:20～16:30	場所	我孫子市水の館・他
参加人数	28名 内訳(・一般：16名、・協会員：12名) 他我孫子市職員1名		
概要 (行程)	集合/受付・12:20 水の館3F		
	セミナー・12:40～14:00 テーマ：我孫子・手賀沼の景観とその近代(於・水の館3F 研修室) 講師：我孫子市教育委員会 文化・スポーツ課 柏瀬 拓巳氏		
	見学会・14:00～16:15 水の館出発、旧村川別荘、志賀直哉邸跡、白樺文学館、天神坂、 天神山緑地、杉村楚人冠記念館、けやきプラザへ		
	意見交換会・16:15～16:30 アンケート回収他(於・けやきプラザ11F フリールーム)		

報告事項

○景観まちづくり委員会が主催する令和6年度第1回目の見学会	
(目的)	
◇千葉県から受託した「令和6年度第2回景観セミナー企画運営等業務委託」の対象として、主に大正期に文人らが集い愛されて多くの作品を生み出し、その後様々な活動により守られて来た景観を持つ我孫子・手賀沼を選定し、近代における景観まちづくりのあり方について学習することを目的とした。	
(実施状況)	
◇セミナー(講座)	
・「我孫子・手賀沼の景観とその近代」をテーマに2部に分け、前半を「手賀沼の景観史」として、我孫子・手賀沼の地理的・地形的特性を背景に古代から古墳時代等を経て、文人たちが多く集った近代までの歴史の紹介。後半を「手賀沼保勝会について」として、近代における手賀沼の干拓やその周辺の宅地化による環境と景観の破壊を危惧した、杉村楚人冠・嘉納治五郎・村川堅固らの手賀沼保勝会による、景観保護活動の紹介を通して、景観を活かしたまちづくりを目指す足掛かりの提案があった。また、途中休憩時間には、水の館2Fの考古資料の閲覧を促され、解説も受けた。	
◇見学会(まち歩きツアー)(ガイドはセミナー同様、柏瀬拓巳氏にお願した)	
・旧村川別荘：親子二代の西洋古代史学者、村川堅固が建築し、堅太郎が守った別荘。大正10年に我孫子宿本陣を移築して母屋とした。朝鮮風とされる新館は昭和3年に建設。(我孫子市指定文化財)新館周辺は樹木の剪定作業中で立入禁止だったため、母屋と外構を中心に屋外からの見学となった。	
・志賀直哉邸跡：志賀直哉が大正4～12年に過ごした。建物は多くの作品を執筆した書斎のみが現存。(我孫子市指定文化財)混雑を避けるため、ツアー参加者を2班に分け、白樺文学館とこことを交代制で見学した。	
・白樺文学館：手賀沼にゆかりの白樺派作家や民芸運動に関わった人々の作品等を収蔵・展示する文学館。平成13年に建設された。柳宗悦夫人で声楽家の柳兼子のピアノを使用したBGM演奏等も行われている。	
・天神坂：かつて三樹荘に集った文人たちが手賀沼へと下っていくこの坂をこよなく愛したと言われている。ツアーの後半での急な階段に参加者は多少苦労していたが、全員無事に上りきることが出来た。	
・天神山緑地：講道館柔道の創始者で教育者の嘉納治五郎が明治44年に設けた別荘跡地。嘉納治五郎は甥で民芸運動家の柳宗悦を招く等、我孫子に文人が集うようになることに多大な貢献した。緑地に隣接して、柳宗悦の住居(三樹荘)跡がある。	
・杉村楚人冠記念館：国際的ジャーナリスト・杉村楚人冠がもともと別荘として使っていたが、関東大震災を機に大正13年に移住し生涯を過ごした旧邸を整備した記念館。(我孫子市指定文化財)ここでは、屋内外について学芸員によるガイドを受けることが出来て興味が深まった。	
(所感)	
・今回のイベントは、募集予定20名に対し、早くから参加希望者が多く、応募締切りを早めることになった。この地域での文化や景観への関心の高さと、行政・市民のネットワークの充実によるものではないかと感心させられている。	
・参加者の年代が小学生から90歳代まで幅広く、まち歩きツアーでの安全が危惧されたが、無事に全員で全行程を歩きとおすことが出来た。これは偏に行程の組立て段階から詳細なご指導を頂いた、我孫子市教育委員会の皆様のご協力の賜物と感謝しています。	
・手賀沼の風光明媚な景色(景観という言葉がいわれる前から)があって、古代から、人々が手賀沼を見下ろす崖っぷちに住み着いていた場所であることを講義の中で知ることができた。手賀沼が完全に干拓され埋められてしまうことを想起してみると恐ろしい。建物は改修して永らえるもできるが、手賀沼の景観は不可逆的な我孫子の宝といってい。	
(次回開催時の課題について)改善提案	
・参加者の行動確認(先に見学先に行ってしまう方がいたので次の予定をしっかりとアナウンスする。)	
・市町村に公式ラインがある場合は広報活動で活用させていただく。(特に開催の近隣市町村。)	
・アンケートに個人情報の取り扱いについて記載があったので申込の際に個人情報を書いてもらう理由を保険加入のためと記入する。	

我孫子まち歩きツアー＋セミナー写真

		
No. セミナー会場:水の館	No. 講座受付	No. 司会:高梨委員
		
No. セミナー風景	No. 挨拶:井桁会長	No. 講師:柏瀬氏
		
No. セミナー風景	No. まち歩き	No. まち歩き
		
No. 旧村川別荘	No. 旧村川別荘	No. 旧村川別荘
		
No. 旧村川別荘	No. 旧村川別荘	No. 志賀直哉邸跡

					
No.	志賀直哉邸跡	No.	白樺文学館柳兼子のピアノの部屋	No.	白樺文学館地下の民芸風椅子
					
No.	天神坂	No.	天神坂天神山緑地	No.	杉村楚人冠記念館
					
No.	杉村楚人冠記念館	No.	杉村楚人冠記念館	No.	杉村楚人冠記念館
					
No.	けやきプラザ	No.	アンケート	No.	けやきプラザ風景